

ARIBからのお知らせ

平成 23 年度会員懇談会開催のお知らせ

平成 23 年度会員懇談会を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

- 1 日時 2012年2月24日(金) 午後5時10分から6時40分まで
- 2 場所 ホテルニューオータニ 鳳凰東の間 (タワー宴会場階)
千代田区紀尾井町 4-1 (電話 03-3265-1111) <http://www.newotani.co.jp/tokyo/>

付記

本懇談会は、一般社団法人への移行を機に従来2月期に行っていた次年度事業計画及び予算に関する総会決議が理事会決議により可能となったことから、これらに代わり本懇談会において報告するとともに合わせて懇親会を行うものです。

【問合せ先】

一般社団法人電波産業会 総務部 宮田又は平野
東京都千代田区霞が関 1-4-1
電話:03-5510-8590 E-mail:miyata@arib.or.jp

ARIBの動き

第 188 回技術委員会（放送分野）を開催

第 188 回技術委員会(放送分野)を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 2012年1月25日(水) 午後2時から3時まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要
 - (1) 素材伝送開発部会に関する活動についての報告
 - (2) 第 83 回規格会議の開催についての説明
 - (3) 第 23 回電波功績賞表彰候補者の推薦依頼についての説明
 - (4) 平成 23 年電波利用懇話会の開催状況についての報告
 - (5) 第 18 回書面表決による技術委員会の結果についての報告

第 92 回電波利用懇話会を開催 「スマートフォン向け放送局『NOTTV』の開局に向けて」

1月24日(火)に、第92回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、株式会社 mmbi の石川 昌行 取締役 経営企画部長を講師にお迎えし、マルチメディア放送に係わる「スマートフォン向け放送局『NOTTV(ノッティーヴィー)』の開局に向けて」というテーマでご講演いただき、60名を超える会員の皆様方に受講していただきました。

講演では、サービス開始が目前に迫ってきた、株式会社 mmbi が計画しているマルチメディア放送の具体的なサービス(スマートフォンをはじめとした携帯型の受信機に対して、これまでの放送の概念を一新し、一方向の情報提供ではなく、インタラクティブなサービス)の内容を中心に、動画を交え非常に解りやすくご説明していただきました。

全体をとおして受講者の高い関心を集め、熱心に聴講していただき、サービスの料金体系や、マルチメディア放送対応受信機の開発動向等について、活発な質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料については、当会のWebサイト「お知らせ・お問合せの講演会等開催案内 (<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)」において、ダウンロード公開しています。



第 92 回電波利用懇話会の様子と講師の石川様

総務省からのお知らせ

国際電気通信連合(ITU)無線通信総会(RA-12)の結果

【平成24年1月23日の総務省報道資料から】

平成24年1月16日(月)から20日(金)まで、スイス(ジュネーブ)において、国際電気通信連合(ITU)無線通信総会(RA-12)が開催されました。主な結果は以下のとおりです。

1 研究委員会(SG)から提出された勧告案の承認

3 件の新規勧告、1 件の改訂勧告が承認され、1 件の改訂勧告が SG に差し戻されました。その概要は以下のとおりです。

(1) 第 4 世代移動通信システム(IMT-Advanced)の詳細無線インターフェースに関する新規勧告

1Gbps の高速通信を実現する第 4 世代移動通信システムの無線インターフェースを定める新規勧告において、携帯電話の方式を基本とした「LTE-Advanced」及び無線 LAN の方式を基本とした「WirelessMAN-Advanced」の 2 つの方式が採用されました。

(2) 「うるう秒」の調整の廃止に関する改訂勧告

「うるう秒」による調整を廃止する改訂勧告案については、賛成、反対、本件についてさらに情報が必要であるとの 3 つの異なる意見が表明され、審議の結果、改訂勧告案は科学業務を担当する SG7 に差し戻して検討を継続するとともに、1 月 23 日から開催される世界無線通信会議(WRC)において、将来の WRC で検討することが提案される予定です。

2 SG から提出された決議案の承認

新規に 6 件の決議が承認されました。主な決議は以下のとおりです。

(1) コグニティブ無線システムの導入に向けた研究に関する新規決議

電波の利用ニーズの増大に伴う周波数のひっ迫に対応するため、電波の有効利用を可能とする技術であるコグニティブ無線システムに関して、その技術条件などについて今後、無線通信部門(ITU-R)での研究を促進するための新規決議が承認されました。

(2) 温室効果ガス削減のための無線通信デバイスの電力消費削減に関する新規決議

無線通信業務によって放出される温室効果ガスの削減に寄与するため、無線システム/アプリケーションの省エネルギー策の検討を求める新規決議が承認されました。

3 次期研究会期における研究課題案の承認

次期研究会期(2012 年～2015 年)における各 SG の 223 件の研究課題が承認されました。主な研究課題は以下のとおりです。

(1) スーパーハイビジョンに関する研究課題

我が国が先行している技術である、ハイビジョン放送(現在の HDTV)を超える超高精細度画像(スーパーハイビジョン)について、ハイビジョン放送よりも高い臨場感の実現方法、さまざまなアプリケーションとの調和、映像の制作・伝送・表示の基礎となる映像信号形式などの研究課題が引き続き承認されました。

(2) パワーグリッドマネジメントシステムに使用する無線/有線データ通信から既存無線通信への影響に関する研究課題

パワーグリッドマネジメントシステム(スマートグリッド)に使用する無線技術及び装置の特性、並びに当該システムから既存の無線通信に与える影響などの研究課題が引き続き承認されました。

4 SG 議長・副議長の任命

我が国から推薦していた以下の 3 名全員が次期研究会期の議長及び副議長に任命されました。

- ・ SG5(地上業務) 議長 橋本 明 (NTT ドコモ)
- ・ SG4(衛星業務) 副議長 河合 宣行 (KDDI)
- ・ SG6(放送業務) 副議長 西田 幸博 (NHK)

放送新技術調査研究会

次世代デジタル放送伝送技術検討作業班 主任 杉之下 文康

(NHK 放送技術研究所 放送ネットワーク研究部 主任研究員)



昨年6月より、放送新技術調査研究会の次世代デジタル放送伝送技術検討作業班で、主任を務めております杉之下と申します。

昨年は、アナログ放送の終了とデジタル放送への完全移行という節目の年でした。ハイビジョンによる番組制作が当たり前のものとなり、新しい放送サービスとしてスーパーハイビジョンや立体テレビなどの研究開発も進められています。今後、さらなる高精細な放送サービスを実際の放送に導入するにあたっては、従来の伝送速度を超える「新たな伝送技術」の開発が必要不可欠になります。

本作業班は、この「新たな伝送技術」の観点から、次世代のデジタル放送を考えていくものです。具体的な調査検討の対象としては、①UHF帯での導入を想定した100Mbpsを超える次世代の地上デジタル放送の実現を目指した技術方式、②番組制作の素材伝送における100GHzを超える周波数資源の開発と利用方法、という2項目を設定しています。これらは、使用周波数も伝送速度も大きく異なりますが、伝送技術という観点では、かなりの部分で共通するものと考えます。

私とARIBの関わりは、およそ15年前にさかのぼります。42GHz帯FPUの標準規格(STD-B7)策定のために、上司に連れられて作業班に参加したのが最初です。私にとってはまったくの別世界で、会議の内容も委員の皆様の発言も驚くことばかりでした。その後、いくつかの共用検討に関わることになりましたが、その基本はすべて、この最初の作業班で教えてもらいました。

本作業班では、新たな伝送技術について、多角的な観点から自由な発想で議論しております。若手の研究者や技術者にも会合に参加し、さまざまな考え方を発信し、吸収して欲しいと思います。

広範囲な検討が必要となるため、本作業班に与えられた時間は決して長くはないと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

編集後記

私事ですが、ARIB卒業に伴いまして、本号が私にとって最後の編集となりました。

約3年の間、読者の皆様、記事を提供していただいた皆様には、大変お世話になり、本当にありがとうございました。(S.K)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp